

弊社HPが新しくなりました！

- ・従来のスモレンスキチャッキバルブに加えフートバルブも掲載。
- ・過去スモレン便りバックナンバーを完全網羅！
- ・各種機種ごとのカタログがダウンロード可能に！



昭和28年に特許を取得した当社の代名詞「スモレンスキチャッキバルブ」は、スプリングを内蔵した金属製のリフト式逆止弁です。汎用のスイング式チャッキバルブと違い、管内の流体が逆流する瞬間には、弁体が内蔵されたスプリングの作用により完全に閉鎖されているため、ウォーターハンマを起さないで、水道管の振動と騒音、ポンプの保護や配管の安全を両面的に向上させる革新的な製品として、圧倒的な支持を頂いております。この製品に加え、皆さまのご要望にお応えして、新開発の特許弁体構造(特許出願済)により震動の低減と地上でのイメージメンテナンクス、ステンレス製による幅広い現場での利用を実現した「スモレンスキグランドフートバルブ」もラインナップ。



お客様の条件にあったチャッキバルブ/フートバルブを探す



お客様の条件にあったチャッキバルブ/フートバルブを探す

- 【スモレンスキチャッキバルブ・フートバルブ-FTS・SG】
- ・材質・タイプ・圧力ごとに機種検索ができるように
 - ・納期表改訂
 - ・製品特長やカスタマイズも網羅
 - ・試運転・運転要領書のダウンロード
 - ・吸い上げ算定サービスの依頼書のダウンロード

図面・外観図はどこからとればいいのか？という方はコチラ！

HP上のココをクリック

お客様の条件にあったチャッキバルブ/フートバルブを探す

担当者の一ヶ月



小島 和彦
(2007年入社当時写真)

皆さん こんにちは 小島です。最近TVなどで私の住み近くを流れている多摩川が紹介する番組をみかけます。先日はタマゾン川と呼ばれていました。確かに昔から外来種、ブラックバスなどいました。私が幼少の頃は生活排水で泡だらけなのが問題でしたし、私の父の時代は豚、家畜がよく流れてきて、衛生的に問題だったようです。



◇暦は「立春」、春よこい早く来い・・・◇

いつもスモレンスキをご愛顧頂き誠にありがとうございます。毎日寒い日が続きますが如何お過ごしでしょうか。暖かい春の日差しが恋しい季節ですがここはしっかりと季節を受け止め凌ぎたい今日この頃です。さて「スモレンスキ®フートバルブ」が皆様の現場で使用され始めてからほぼ3年となりました。「グランドフートSG」も早いもので1年を迎えます。特にSGは内部の部品が1個から全種類、購入出来ますので予備部品として急なトラブル等にご準備頂きましたら幸いです。2月～3月は繁忙期、ご予約案件へのご対応はお早めをお願い致します。～今後もご愛顧の程、宜しくお願い致します～



バルブ事業部長
千葉 和典

今月の目次

- ・ご挨拶 (千葉事業部長)
- ・テクニカルメッセージ 「フートバルブを設置すれば吐出側に逆止弁は不要ですか？」
- ・今月の特集 「スモレンスキグランドフートバルよくあるお問い合わせ」「設置・試運転要領」
- ・イシザキからのお知らせ 「弊社HPが新しくなりました」



「よくある質問の紹介！！」 「フートバルブを設置すれば吐出側に逆止弁は不要ですか？」

スモレンスキフートバルブの販売開始より3年程が経過し、ご好評を頂きまして1600台を超える出荷実績を積み重ねることが出来ました。そこで、これまでにあった「よくある質問」の一例について紹介します。

今回取り上げる「よくある質問」の一例として、「フートバルブを設置すれば吐出側に逆止弁は不要ですか」という質問を頂くことがあります。まず、下記にそれぞれの役割とそれに伴って起こり得るケースについて紹介します。

- フートバルブ → 吸込み管内の水が水槽へ落ちていくのを留める為、吸込み管の末端に設置します。吸水管内とポンプ内に水が満ちていない場合、ポンプが空回りの状態となり水を吸い上げることが出来なくなり、水を送水できないことはもちろんのこと、焼けなどによりポンプが破損に至るケースがあります。
- 逆止弁 → ポンプの停止時に水が逆流することを防ぐために設置します。吐出側の水が逆流すると、インペラーが緩むなどポンプが破損に至るケースがあります。また、逆止弁にはスプリングなどの力により、ウォーターハンマを防止するタイプのものがあります。これはポンプ停止後、流れ方向が変わる前に弁を閉鎖させるもので、スモレンスキもその一つです。

よって、フートバルブと逆止弁は、全く異なる役割を担っています。ポンプの保護など安全操作のためにも、逆止弁もしくはウォーターハンマ防止型逆止弁(スモレンスキ型逆止弁)を設置することを推奨します。



フートバルブ
カットモデル



スモレンスキ型逆止弁
カットモデル

スモレンスキグランドフートバルブについてよくあるお問い合わせ



Q. 既設フート弁はどうするの？

A. 弊社フートバルブと末端フート弁の併用により、末端フート弁の影響から減圧が保てず、運転に支障をきたす可能性があるため、併用は推奨しておりません。異物の混入を防ぐためフート弁の弁体を取り外して格子のみ残している(弁無し)現場がございます。



Q. ごみの心配、またストレーナーの設置位置は？

A. 異物吸い込みを避けるため先端を網で覆っている現場もございます。またストレーナーはポンプ～グランドフートバルブ間に設置となります。



Q. 試運転時に水が上がっている様子はどう確認するの？

A. ポンプ吐出側の圧力ゲージで判断して頂いています。また、弊社減圧口に真空計を取付けることで、インチングの度に水頭分の負圧がかかるので目視確認が出来ます。通水後も落水の有無が確認できます。



Q. 消防用設備の採用例はありますか？

A. 現行の告示上消防認定に該当しない製品ですが、日本消防安全センター、消防庁予防課様のご見解では当該製品の設置の可否判断は、設置箇所を管轄されている所轄署様のご判断で問題無いとの見解を頂戴しております。所轄署様のご承認の元、SM-FTS、SML-DT-FTS、SG採用例は多数あります。



Q. 水中ポンプはメンテナンスが大変なので地上化を考えていますが代替可能でしょうか？

A. 既に多くのお客様がフートバルブを用いたポンプ地上化を検討されている実績があります。フート弁の不具合が解消されるのであれば「水中ポンプより管理がラク」と評判です。



Q. 仕様圧力は？

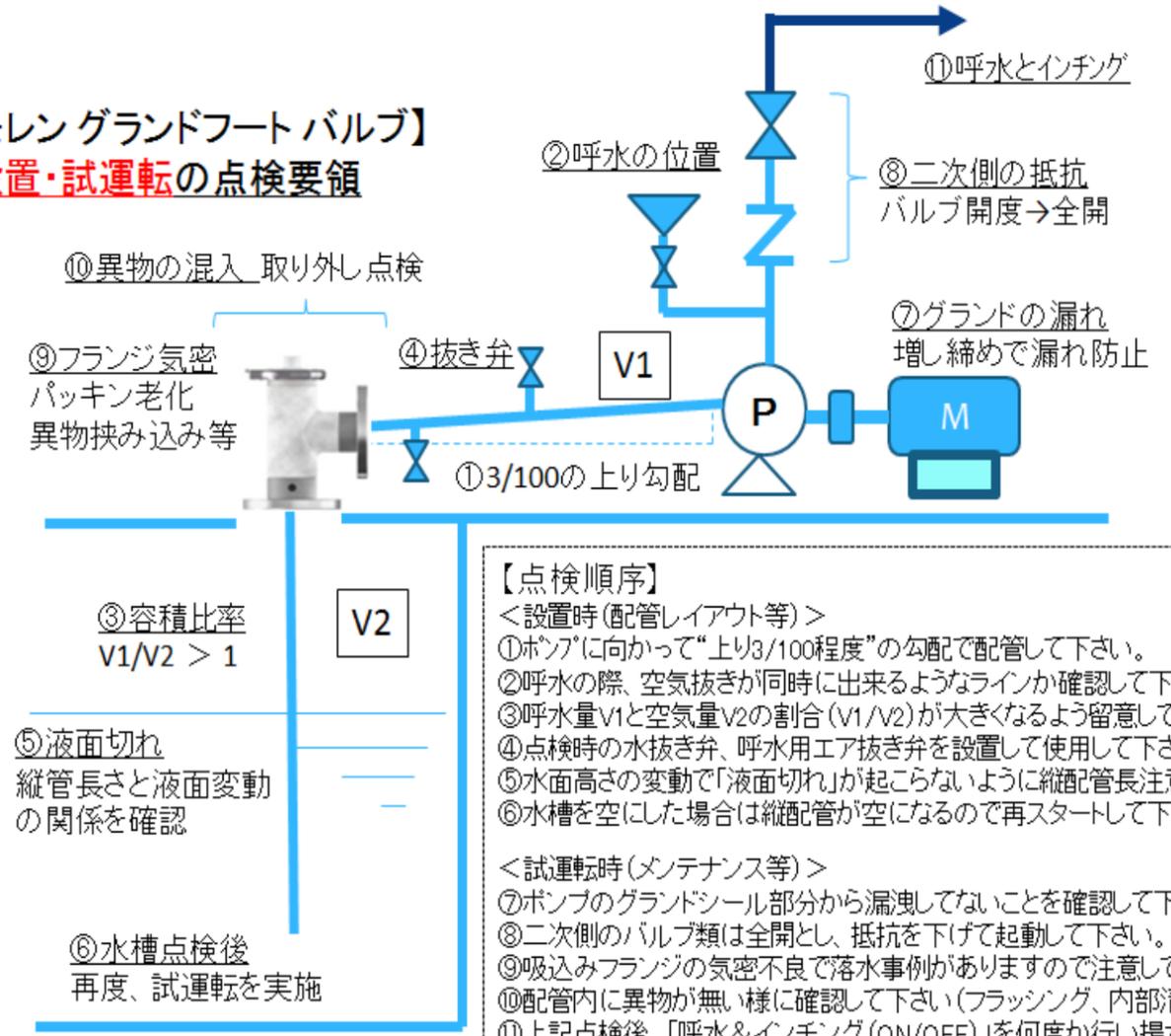
A. 0.49MPaとなります。

設置・試運転要領

スモレンスキグランドフートバルブの据え付けや使用前に留意する事項を下図にまとめました。

特にサクシオン側配管は負圧になる部分なのでエアのリークに注意する必要があります。また、渦巻きポンプなどの起動時に必要な呼水操作もエアの抜けが悪いと揚水できない場合が発生しますので確実に実施し、ポンプの損傷などを起こさないように留意して下さい。

【スモレングランドフートバルブ】
設置・試運転の点検要領



- 【点検順序】
- <設置時(配管レイアウト等)>
- ①ポンプに向かって“上り3/100程度”の勾配で配管して下さい。
 - ②呼水の際、空気抜きが同時に出来るようなラインが確認して下さい。
 - ③呼水量V1と空気量V2の割合(V1/V2)が大きくなるよう留意して下さい。
 - ④点検時の水抜き弁、呼水用エア抜き弁を設置して使用して下さい。
 - ⑤水面高さの変動で「液面切れ」が起こらないように縦配管長注意して下さい。
 - ⑥水槽を空にした場合は縦配管が空になるので再スタートして下さい。
- <試運転時(メンテナンス等)>
- ⑦ポンプのグランドシール部分から漏洩していないことを確認して下さい。
 - ⑧二次側のバルブ類は全開とし、抵抗を下げて起動して下さい。
 - ⑨吸込みフランジの気密不良で落水事例がありますので注意して下さい。
 - ⑩配管内に異物が無い様に確認して下さい(フラッシング、内部清掃等)。
 - ⑪上記点検後、「呼水&インチング(ON/OFF)」を何度か行い揚水をして下さい。
- ◆「点検要領」を確実にやり、安全に起動しましょう◆

※注意事項：

インバーターポンプに本製品をご使用の際は、通常の呼水操作では揚水出来ないケースが多いため、バルブ本体に減圧口を設置しております。その際は本製品1次側の縦配管(図中V2)を満水にする方法として減圧装置による吸上げが必要ですので、注意して試運転して下さい。